

刈谷豊田総合病院 外科専門研修プログラム

プログラム特徴：選択肢はいろいろ！

1. 研修方式を選択できます！（参照：4ページローテ例）

① サブスペシャルティ領域の研修を重点的に行う方式

基幹施設または連携施設においてサブスペシャルティ領域の研修を重点的に行いながら、研修修了のために必要な他領域の症例も充足させて研修を行う。

② 修了要件である各領域の手術手技または経験の症例を確実に経験できる4領域スーパーローテ方式

1年目に基幹施設で、消化器外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科の4領域について、それぞれローテ期間を設定して研修し、修了要件を早期にクリアすることを目指す。要件を充足したのち、志望するサブスペシャルティ領域の症例を中心に研修する。

2. 連携施設で研修できる期間は最大2年6カ月。専門研修を連携施設で開始できます。

研修申込み時に3つのコースから選択できます！

- A) 基幹施設（当院）で2年6ヶ月，連携施設で6ヶ月
- B) 連携施設で2年6ヶ月，基幹施設（当院）で6ヶ月
- C) 連携施設で2年，基幹施設（当院）で1年。

※連携施設または基幹施設への異動時期は専攻医の希望と名古屋市立大学医局によって調整が図られます。

名古屋市立大学病院
豊川市民病院
トヨタ記念病院
蒲郡市民病院
知多厚生病院

専門研修施設群
（連携病院）

3. 専門研修中の医局入局は必須ではありません。

忙しい中でも学会活動と論文作成は必須としていますが名古屋市立大学外科学教室への専門研修中の入局は必須ではなく3年間の研修終了までに考えを固めていけばいいようになっています。研修内容は忙しく厳しい反面、自分の進みたい方向に合わせて自由な選択ができるようになっています。

消化器外科医（専攻医3年目）の話を聞いてみよう！

Q.実際に手術をするにあたって、手術の手順や作法など基本的な手技について、どの程度指導していただけるのでしょうか。初期研修医から専攻医になった時に、自分が先輩方のように円滑に立ち振る舞えるかどうか心配です。



消化器外科志望 研修医1年目

A.私も同じような不安を抱いていたのでよくわかります。でも、実際に研修を始めてみるとそういった不安はだんだんなくなっていきました。手術手順については、自身での予習も必要です。手術前には、指導医として手術に参加する上級医と打ち合わせを行い、基本方針を共有します。そして術中には手技、作法とも一つ一つ細かく指導します。最初は糸結び、運針、腹腔鏡の基本操作などからでしょうか。実践を通じて、時に厳しい指導も行われます。当院では十分な症例を経験できるため、**回数を重ねるごとにできることはみるみる増えていきます**し、自信もつてきます。数か月も経過すれば十分形になっていると思います。

外科専攻医3年目
消化器外科 上田Dr.

Q.また、納得がいく手術ができる時もあればそうでない時もあると想像します。研鑽を積む日々の中で、気を付けていることや大切にしている心の持ちようはありますか。

A. 実際の手術では、予習をどれだけして臨んでも、術中思うように上手くいかないことも多いです。そういった場合は必ず反省と復習をします。「なぜ上手くいかなかったのか」「上級医と自分の手術といったい何が違うのか」、等々疑問をひとつずつ解消していきます。自分一人で行うばかりではありません。自分の手術ビデオを先輩後輩交え、忌憚のない意見で評価し合う場面もあります。

患者様にとっての手術は一度きりですので、その時の自身のベストを尽くせるよう、一例一例を大切に扱い、また反省点は次の手術へとつなげていくことが大事だと思います。そういった心は忘れず、日々の診療に取り組んでいます。

外科は多忙な診療科ではありますが、やはりそれ以上にやりがいのある分野だと思います。**自らの手術・周術期管理で患者様の容態が改善し、無事に退院までたどり着いた時には、医の原点に立ち戻ったような感覚**になります。**ぜひ当院で一緒にその第一歩を踏み出しましょう。**

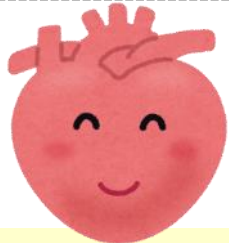
刈谷 豊田総 合病院 NCD 登録数	1 消化管お よび腹部 内臓	2 乳腺	3 呼吸器	4 心臓・大 血管	5 末梢血管	6 頭頸部・ 体表・内 分泌外科 ※	7 小児外科	8 左記1～ 7の 内視 鏡手術 (腹腔 鏡・内視 鏡を含 む)	9 外科領域 合計	10 経験とな らない NCD登 録数	11 左記9+ 10 外科 領域合計 <NCD 登録数 >
	豊富な症例数			年々増加！							
2019 年	1182	134	281	136	115	106	112	1313	2066	17	2083
2018 年	1155	131	275	133	112	104	110	1284	2020	17	2037
2017 年	1081	123	257	124	105	97	103	1201	1890	16	1906

(※皮膚・軟部組織・顔面・唾液腺・甲状腺・皮小体・性腺・副腎など)

心臓血管外科医（専攻医3年目）の話聞いてみよう！



心臓血管外科志望
研修医2年目



Q. 難易度が高い手術が多く、緊張の連続ではありませんか？

Q. 先生はどうして外科の中でも心臓血管外科を選択されたのでしょうか。

外科専攻医3年目
心臓血管外科
北村Dr.



A. 当科の手術はどれも行程が多く複雑なものとなりますので、**難易度の高い手術**にやり甲斐を感じる方にとっては良い選択肢の一つとなるでしょう。

難易度が高いがために、一人前の術者になるまでにはどうしても他の診療科よりも時間がかかりますが、**約30年間没頭できる仕事**は何かと考えた際、自分は心臓血管外科に辿り着きました。

A. 心・大血管の手術を受けるということは誰にとっても、その人生において非常に大きな出来事になると思われます。そのような**重要な治療過程に携わることができる**というのは、日々の診療の中での**モチベーション維持**において重要です。

施設群の中でもダントツの内視鏡手術数！

基幹施設／連携施設	基幹施設	連携施設A	連携施設B	連携施設C	連携施設D	連携施設E
1 消化管および腹部内臓	1182	930	741	653	441	182
2 乳腺	134	207	112	122	0	19
3 呼吸器	281	269	146	83	0	8
4 心臓・大血管	136	146	82	0	0	0
5 末梢血管	115	54	31	15	0	26
6 頭頸部・体表・内分泌外科（皮膚・軟部組織・顔面・唾液腺・甲状腺・上皮小体・性腺・副腎など）	106	47	109	22	23	3
7 小児外科	112	108	61	37	11	2
8 上記1～7の 内視鏡手術 (腹腔鏡・胸腔鏡を含む)	1313	578	594	318	223	126
9 外科領域 合計	2066	1761	1282	932	475	240
10 経験とならないNCD登録数	17	115	109	60	3	39
11 上記9+10外科領域合計 <NCD登録数>	2083	1876	1391	992	478	279

大学病院をも上回るNCD登録数！



腹腔鏡下手術

外科系志望で具体的な進路に迷われている方は是非一度「外科」に見学にいらして、**当科の魅力**を肌で感じてみてください。



当院外科のStrong Point!

腹腔鏡下手術に長けた外科医が揃っています！

虫垂切除から始まり胆嚢摘出，鼠経ヘルニアそして大腸，胃切除へと**ほぼ全てが腹腔鏡下手術**です。

ロボット支援の直腸切除術・胃切除・肺葉切除術を積極的に行っています。

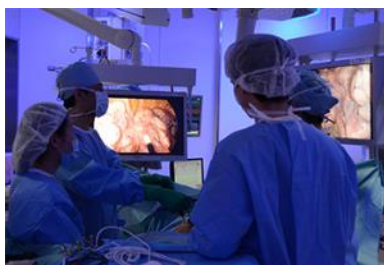
各専攻医に課せられる課題とトレーニングは生半可ではありません！

しかし常に実践と結びつき，気が付いたらできるようになっている，という

研修・指導体制が整っています。



ダヴィンチxi



モニターを見ながら手術施行



肺がん手術の創
2.5-3.5cmの小切開と2ポート
(11mm,6mm径)

研修ローテ（例）

例)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目※1	サブスペ専門領域フィックス											
1年目※2	消化器外科			呼吸器外科			乳腺・内分泌外科			心臓血管外科		
2年目	サブスペ専門領域フィックス						連携施設での研修					
3年目	サブスペ専門領域フィックス											

※1 基幹施設で呼吸器外科志望の場合は1年目は消化器外科で鏡視下手術を習得していただきます。

※2 4領域のローテ期間及び順番は任意設定が可能。

外科学の未来を築いていこう！

～プログラム責任者からのメッセージ～

当院は**症例数が多い**ため，各領域において専攻医1年目からの執刀と専門医が行う手術の助手を繰り返すことが求められます。漫然と各領域をローテーションする姿など微塵もありません。外科専門医取得に必要な最低限の執刀を含めた手術経験を満たしつつ，**早期からサブスペシャルティ領域に特化した研修**を積み重ねられるプログラムになっています。

また，とくに消化器外科・呼吸器外科は**ロボット手術**に積極的ですので，当院で専門研修を行うと10年後，15年後の外科がどのようなになっているかを考えられるようになります。

日本に留まらず世界の第一線で活躍する将来の姿を想像し，自らが外科医のトップランナーとなっていくことを夢物語では終わらせません。

外科医としての最初の3年は非常に重要です。

刈谷豊田総合病院の外科専門研修プログラムで

我々とともに**外科学の未来を築いていきましょう。**

プログラム統括責任者 小林建司

